

## 波



「遊牧は原始的。より進んだ定住に向かうべきだ」

ウランバートルで今月八日に開かれた遊牧社会を考えるシンポジウムで、科学アカデミー地理学研究所・遊牧民研究センターのバザルグル所長はこう発言したという。出席

れてからは、現実には遠隔地の遊牧が産業として成り立たなくなってきた。

エンフバヤル首相も、文化は大事だが生き残るためには仕方がないと遊牧の放棄を公に示している。しかしと、小長谷教授は言う。

「集積的な発展をしてきた二十世紀に遊牧は不利だったが、二十一世紀も同じ発展の

## 遊牧は原始的？



した小長谷有紀・国立民族学博物館教授の報告だ。

「遊牧は遅れた形態という社会主義時代の見方が強く残り、しかも市場経済が導入さ

道をたどるだろうか？ むしろ、携帯電話など分散型の発展を可能にする技術が発達してきているのでは」

第三者の意見も意義があるはずと、小長谷教授はモンゴルでも積極的に発言する。モンゴル人ではないモンゴル研究者の自負。「バザルグルさんには『俺たちを博物館に入れるつもりか』と言われましたよ」と笑った。(坂)